



鳥取発基 0406 第 3 号
令和 8 年 4 月 6 日

関係団体の長 殿

鳥取労働局長



令和 8 年「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」の実施について

日頃より労働安全衛生行政に格別の御配意を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、職場における熱中症予防対策については、平成 29 年から「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」を実施し、各防災団体等と連携して熱中症予防対策に取り組むとともに、令和 7 年 6 月に施行された労働安全衛生規則の遵守を図ってきたところで

す。鳥取県内における今年の熱中症の発生状況（令和 8 年 2 月末速報値）は、死亡災害は発生しておらず、休業 4 日以上死傷者数は 7 人と前年（11 人）と比較すると減少したところ

です。一方、全国においては、死亡を含む休業 4 日以上死傷者数が 1,681 人、うち死亡者数は 15 人となっており（全国の令和 7 年 12 月末速報値。別紙参照。）、死亡者数は減少したものの、死傷者数は前年比約 4 割の大幅な増加となっております。業種別にみると、製造業 337 人、建設業 278 人、商業 221 人、運送業 201 人、警備業 186 人となっており、全体の約 4 割が建設業と製造業で発生しています。また、死亡者数は、建設業が最も多く、警備業が続いています。熱中症予防のための労働衛生教育の実施を確認できなかった事例や、糖尿病、高血圧症など熱中症の発症に影響を及ぼすおそれのある疾病や所見を有している者への配慮を行っていなかった事例も見られています。

これを踏まえ、厚生労働省では、本年 3 月に別添 1 の「職場における熱中症防止のためのガイドライン」を策定したところ

です。標記のキャンペーンでは、別添 2 の実施要綱（以下「要綱」という。）により、すべての職場において、同ガイドラインに基づく熱中症防止対策を講ずるよう広く呼びかけるとともに、期間中、特に、①湿球黒球温度の値（WBGT 値）の把握とその値に応じた熱中症予防対策を適切に実施すること、②熱中症の重篤化による死亡災害を防止するため、「早期発見のための体制整備」、「重篤化を防止するための措置の実施手順の作成」、「関係作業員への周知」を行うこと、③糖尿病、高血圧症など熱中症の発症に影響を及ぼすおそれのある疾病を有する者に対して医師等の意見を踏まえた配慮を行うことに重点を置き、周知・啓発を図ることとします。

貴会におかれましても、キャンペーンの趣旨を踏まえ、会員事業場等に対し、別紙チラシ等も活用しつつ、要綱の 9 の重点実施事項等の取組が行われますよう、特段の御配慮をよろしくお願い申し上げます。



参考 URL https://www.mhlw.go.jp/stf/coolwork_2026.html



令和 8 年 4 月 10 日（令和 8 年「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」を実施します）